桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院高校新聞部

福島から世界へ翔け！聖母生

祝卒業！ 桜の聖母学院高校第63期生

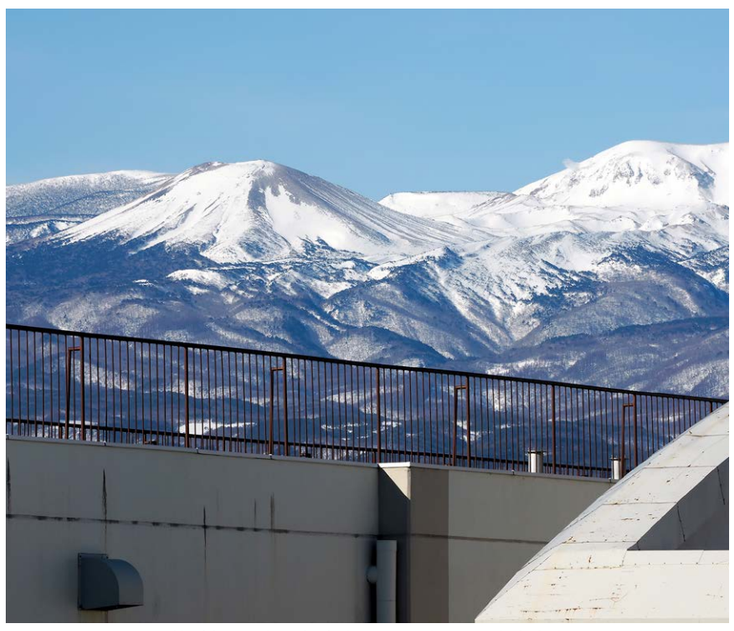
2017（平成29）年3月1日、桜の聖母学院高等学校は63回目の卒業生を世に送り出す。この世代は6年前の東日本大震災の際、小学校卒業を目前に控えた6年生。この時ほとんどの小学校で卒業式は中止となり、翌月の中学校入学も大きく狂った学年だった。福島第一原発事故のために他県に避難する生徒もいた中、ここ福島に残りあるいは戻ってきて、いま晴れて高校を卒業し社会にはばたく6クラス146名の卒業生たちに、全世界から惜しみない賛辞と祝福が贈られる。

学校長賞には19名

今回の本校卒業式における例年との違いは、受賞基準が改訂されたこと。創立者の名を冠した聖マルグリット・ブールジョワ賞には、学校長賞の該当者の中から特に優れた功績の者が選ばれることになったが、今年は該当者なしとなった。しかし学業成績の基準は、かつての同賞のものが今年から学校長賞の基準となったため、今回学業成績で学校長賞に選ばれた大月侑さん、三河日向子さん（以上3年3組）、斎藤真生さん（3年4組）は、昨年までなら聖マルグリット・ブールジョワ賞に該当した立派な成績だ。

学校長賞には他に、生徒会活動で3期連続生徒会副会長などとして活動した、鈴木冴佳さん（3年2組）。スポーツ活動では、インターハイ全国大会や春の選抜大会など常に全国の舞台で活躍した卓球部の、苅宿紗英さん（3年1組）、田中蛍さん、遊佐優香さん（共に3年4組）、星美咲さん（3年6組）の4名が。また3年次にインターハイ全国大会に出場したソフトテニス部からは、但木真紀さん、根本睦さん（共に3年4組）、髙橋麻綾さん、但野愛さん（共に3年6組）の4名。そして同じく3年次に悲願のインターハイ全国大会初出場を果たしたサッカー部では、小沢芽衣さん、加藤陽子さん、河原田あかりさん、島倉璃奈さん（以上3年5組）、安彦悠花さん、八木沼紗由さん（共に3年6組）の計6名が、学校長賞を受賞する。

なお皆勤賞・精勤賞の受賞者は次の通り。


学び舎から望む福島市のシンボル・吾妻小富士

鈴木冴佳さん

斎藤真生さん

三河日向子さん

丹野祥江さん

大月侑さん

星美咲さん

遊佐優香さん

田中蛍さん

苅宿紗英さん

【皆勤賞】
1組　遠藤　こころ
2組　大石　怜奈
　　景　菅野　真央
　　酒井　晴菜　栗崎　日菜子
3組　菅田　周　東城　七奈子
　　田中　美花　濱田　さくら
　　丹野　祥江
　　林　由加子
　　松浦　史佳
4組　加川　素子
5組　石川　愛悠
　　雉子波　沙弥
6組　佐藤　海
　　髙橋　愛理
　　後藤　あずみ
　　髙橋　麻綾
　　深堀　芽衣

【精勤賞】
1組　熊坂　京
2組　紺野　樹
　　野田　朋未
3組　三河　日向子
4組　佐藤　美穂
　　根本　睦
　　馬場　優香
　　藤田　宇美
　　幕田　南海
6組　足利　真優
　　渡邊　真帆
　　我妻　星良
　　安彦　悠花
（すべて敬称略）

但野愛さん

髙橋麻綾さん

根本睦さん

但木真紀さん

八木沼紗由さん

安彦悠花さん

島倉璃奈さん

河原田あかりさん

加藤陽子さん

小沢芽衣さん

「聖マルグリット・ブールジョワ賞」

学校長賞受賞の対象となった生徒のうち、特に優れた功績を残し、在学中の後輩のみならず、後年にわたって後輩の良き模範となると認められる者

「学校長賞」

高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者

(1)学業成績
3学年を通して真摯に学業に臨み、各学年末評点平均が90点以上である者
(2)文化活動・スポーツ活動
部活動や校外活動において、インターハイや国体などに出場するなど著しく活躍した者
(3)生徒会活動
4期連続して生徒会役員として、積極的に生徒会活動に貢献した者
（但し、4期連続者のいない学年は、3期とする）

「皆勤賞」

3年間を通して、無欠席・無遅刻・無早退である者

「精勤賞」

3年間を通して無欠席であり、遅刻・早退の合計が3回以内の者
（但し、3年次の出欠扱いは、1月末までとする）

校歌

美しきわがまなびや
山脈はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらはほほえむ

紙面紹介

2面●茨城大学キャンパス見学記
●今年度の大学受験合格体験記

平成29年度入試 大学合格者数

2017年2月17日現在

学校名	学部名	学科・専攻・コース名	合格者数
福島大学	人文社会学群	経済経営学類	1
		行政政策学類	1
		人間発達文化学類文化探究専攻地域生活文化クラス	1
福島県立医科大学	看護学部	看護学科	1
高崎経済大学	経済学部	国際学科	1
青森大学	社会学部	社会学科社会福祉学コース	1
青山学院大学	総合文化政策学部	総合文化政策学科	1
	法学部	法学科	1
茨城キリスト教大学	文学部	現代英語学科	1
	看護学部	看護学科	1
いわき明星大学	看護学部	看護学科	1
	薬学部	薬学科	2
奥羽大学	薬学部	薬学科	2
鎌倉女子大学	児童学部	子ども心理学科	1
関西学院大学	法学部	政治学科	1
神田外語大学	外国語学部	イベロアメリカ語学科	1
		国際コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻	2
健康科学大学	健康科学部	作業療法学科	1
郡山女子大学	家政学部	人間生活学科福祉コース	2
国際医療福祉大学	保健医療学部	看護学科	1
		作業療法学科	1
		放射線・情報科学科	1
札幌大学	地域共創学群		1
城西国際大学	看護学部	看護学科	3
上智大学	外国語学部	英語学科	2
	総合グローバル学部	総合グローバル学科	1
	総合人間科学部	教育学科	1
		心理学科	1
尚美学園大学	芸術情報学部	情報表現学科	1
上武大学	看護学部	看護学科	1
白百合女子大学	文学部	フランス語フランス文学科	2
聖心女子大学	文学部		2
専修大学	文学部	人文ジャーナリズム学科	1
	法学部	政治学科	1
大東文化大学	外国語学部	英米語学科	1
玉川大学	観光学部	観光学科	1
	工学部	数学教員養成プログラム	1
中京大学	国際教養学部	国際教養学科	1
帝京科学大学	医療科学部	看護学科	1
	ヒューマンケア学部	看護学科	1
東京医療学院大学	保健医療学部	リハビリテーション学科作業療法専攻	1
東京医療保健大学	看護学部	看護学科	1
東京家政大学	こども学部	こども支援学科	1
東京国際大学	言語コミュニケーション学部	英語コミュニケーション学科	1
東京富士大学	経営学部	経営学科	1
東京未来大学	こども心理学部	こども心理学科 こども保育・教育専攻	1
東北学院大学	経済学部	経済学科	1
		経営学科	1
	教養学部	言語文化学科	1
東北公益文科大学	公益学部	地域経営系政策コース	1
東北福祉大学	教育学部	教育学科初等教育専攻	1
		初等教育学科	1
	総合福祉学部	社会福祉学科	1
東北文化学園大学	医療福祉学部	リハビリテーション学科作業療法専攻	1
東洋大学	文学部	国際文化コミュニケーション学科	1
獨協大学	国際教養学部	言語文化学科	2
南山大学	外国語学部	英米語学科	1
新潟医療福祉大学	健康科学部	看護学科	1
日本医療科学大学	保健医療学部	看護学科	1
日本大学	工学部	生命応用化学科	1
白鷗大学	教育学部	初等教育	1
		発達科学科心理学専攻	1
フェリス女学院大学	文学部	英文学科	1
福島学院大学	福祉学部	こども学科	1
		福祉心理学科	2
文教大学	教育学部	学校教育課程英語専修	1
		心理教育課程児童心理教育コース	1
	経営学部	経営学科	1
宮城学院女子大学	教育学部	教育学科児童教育専攻	1
	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	1
武蔵野大学	グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	1
	人間科学部	人間科学科	1
酪農学園大学	農食環境学群	環境共生学類	1
麗澤大学	経済学部	経済学科グローバル人材育成専攻	1

聖母へようこそ！前川直哉先生

1月下旬から、本校に日本史の非常勤講師として週3回教えに来ておられる前川直哉先生は、福島市民なら知る人ぞ知る著名人。こんなすごい先生に教わることのできる2年2～5組の日本史選択者は、たいへん羨ましがられている。なぜそんなに有名な先生なのか？知らない人はこの記事を読もう。

前川先生は福島に来られてまだ3年だが、「一般社団法人・ふくしま学びのネットワーク」理事・事務局長として、福島の中高生のために様々な企画を打ち出してきた。本校生の中にも、高校生無料セミナー「夢をかなえる勉強法」や学習合宿に参加した人もいるはず。その講師に、受験界で知られたそうそうたるカリスマ先生たちを招いておられるのも、この前川先生だ。先生に頼まれれば、超多忙な講師の先生方も無報酬のボランティアで、この企画に協力してくださるのだ。

そんな前川先生とは何者なのか。出身は兵庫県の尼崎市で、中高一貫進学校として有名な私立灘中学・高等学校（以下、灘校）の卒業。高校3年生で受験した大学入試センター試験のわずか2日後に、あの阪神・淡路大震災が起こり、ご両親の経営されていた喫茶店は半壊。母校の灘校も被災した上に避難所となり、それ以降は授業もなくなる中、現役で東京大学に合格。卒業後に母校の灘校に地歴科の教師として2014年まで勤務し、その間に京都大学の大学院博士課程にも通っておられたという、私たちの周囲にはあまりいないような学歴の持ち主だ。

そんな前川先生と福島を結び付けたのが、2011年3月の東日本大震災だった。その年の夏休みに同僚の先生と岩手県の釜石にボランティアに来て、帰ってその体験を生徒たちに話したところ、まさに阪神・淡路大震災の年に生まれた生徒たちから「自分たちも行きたい」との声があがったという。たまたま相馬市と南相馬市に、医療支援で灘校の卒業生のドクターたちが入っておられ、その縁もあって震災一年後の3月に灘校「東北訪問合宿」が実現、相馬高校の生徒たちとの交流などが行われた。

その後この合宿に参加した灘校生は、18回で延べ260名。参加者の中では、福島がニュースで見るだけの町から「同年代のメル友がいる町」へと変わったという。親から聞いていた、阪神・淡路大震災で全国から受けた支援を、今度は東日本大震災の被災者に差し伸べることや、福島では当たり前の汚染土を入れたフレコンバッグの山やモニタリングポストなどを実際に見て、現状を実感することの大切さを学んできた。

合宿が軌道に乗った2014年春、前川先生は担任していた学年が卒業するのに合わせて灘校を退職し、福島へ転居。今では永住の地と決め、福島の中高生に「学び」の大切さを伝え、「自分のためではなく誰かを幸せにするために学ぶ」これからの時代の若者を育てる活動に身を投じておられる。2015年より桜の聖母短大兼任講師も務めておられる縁で、今回期間限定の先生として本校生に教えに来てくださった。

と、ここまではあくまで対外的な前川先生の略歴と業績の紹介だったが、せっかく身近にいらっしゃるので、新聞部ではざっくばらんなインタビューを向けてみた。まず趣味は、映画鑑賞と読書。そして昨年セリーグを制覇した、広島東洋カープの熱烈なファンを自認している。桜の聖母の生徒たちの印象を尋ねると「短大でも教えていたので、まじめな生徒が多いことは知っていました。集中力があり、興味をもって聞いてくれる生徒が多いので、授業をしていてとてもやりがいがあります」という、ちょっと嬉しい答えが。本校生に望むことは「主体的に学び続けてください！やらされる勉強ではなく、自ら行う『学び』を大切にしてください」。

そんな前川先生の夢は、福島を特色ある教育の先進県にすること。子どもたちが福島で学んだことを誇りに思える環境をつくることだそうだ。今回前川先生に教わったことをきっかけに、私たちも先生の活動の一助になれれば幸いである。

職員室前でインタビューに答える前川先生

佐藤木綿子先輩の活躍

前川先生の福島での活躍はここ3年だが、それより前から地元では知られていた本校出身の歌手をご存じだろうか。4年前の本校卒業生で、現在福島学院大学4年の佐藤木綿子先輩だ。新聞部では先輩も出演したコンサートを取材、その後に先輩にインタビューし、故郷福島や母校への、そして民謡への思いなどを語ってもらった。

木綿子先輩は、福島を代表する若手「民謡歌手」。2月4日に福島市音楽堂で開催された「ミュージック・フロム・ジャパン　音楽による福島まち造り2017　ふるさとの唄　日本の心」に出演するなど、学業のかたわら幅広く活動を続けてきた。

一般に子どもが民謡を始めるきっかけは、家族の中で愛好者や経験者がいて、その影響や勧めで、という場合が多いが、木綿子先輩の周囲には特にそういう人はいなかった。小学校3年生の頃に、テレビで着物を着て歌っている人を見てかっこいいと思い、自分から習いたいと頼んだという。

高校1年生の終わりには、東日本大震災を経験。その日は本校では普通に授業をしており、6校時と7校時の間の休み時間にあの地震がきた。生徒たちはいったん中庭に避難したが、相次ぐ余震で校舎倒壊の恐れもあったため、校庭に移動。しかし運悪く吹雪となり、その後は比較的最近に耐震工事を終えていた第一体育館に移動、忘れられない体験をしたことを、昨日のように覚えているという。

その後、長崎の被爆者で元高校教師の広瀬方人（まさひと）さん（昨年1月に85歳で死去）との文通がきっかけで、「福島の女子高生と長崎の被爆者の交流」として全国のマスコミにも取り上げられるなど、幅広く活動をしながらも、民謡の稽古を継続。高校3年生の時に、ユニットの歌い手として採用され、駅前でのライブ活動や、復興を目指す福島の温泉街のPR活動などにも、ひと役買ってきた。愛称は、本名の木綿子（ゆうこ）の読み方を変えた「もめんこ」で、キャラクターグッズまで販売された。

その一方で大学では学びたかった福祉をしっかりと専攻し、このほど横浜で就職が決まって故郷福島を離れることに。2月4日のコンサートは、ひとまず福島での最後の舞台となった。私たちも聞いたその民謡は、日本の伝統楽器の尺八や三味線の伴奏に乗って、とても澄み切った歌声だった。

「民謡を始めて15年経ちますが、福島県から出たことがなかったのでどうしても福島の民謡を歌うことが多くなっていました。これからは日本のそれぞれの地方に根差した文化そのものである、様々な民謡を学び、歌っていきたいです。どこで歌っても恥ずかしくないよう、さらに技を磨いていきたいです」という木綿子先輩。故郷福島の復興のためにも、ぜひこれからも活動を続けていってほしい。

現行制度の間に合格を

進路指導部長・吉田先生に聞く

ご存じの通り、現在の中学2年生が大学を受験する2020年度に実施される入試から、現行のマークシート型大学入試センター試験が廃止になり、記述式の導入、複数回受験など、入試制度が大きく変わる。つまり現在の高校1年生は、二浪すると新制度で受けることになり、今春高校に入学してくる現中学3年生に至っては、現役受験が現行制度の最後の機会となるわけだ。ならば現行制度の間に、何としても志望校に合格しておくためには、私たちはどうすればよいのか。進路指導部長・吉田充（まこと）先生に尋ねた。

Q：今回のセンター試験の特徴は？

A：受験者は前年並みの約57万人。内容は基本的には毎年大きく変わるものではないが、国語の平均点が前年の131・7点から109・3点と、20点以上下がった。

Q：今の1・2年生がすべき対策は？

A：第一に、基礎基本をしっかり固めること。国数英は、2年生の終わりまでには一定の水準に持っていくこと。逆に言えば、これらの教科はその後の伸びしろは少ない。

第二に、何か得意分野をつくること。例えば英単語や、漢文など、勉強したぶんだけ確実に伸びる分野を。

第三に、2年生は受験勉強を意識した勉強を、もうこの時期にはスタートさせること。

Q：苦手教科を克服するには？

A：まずやること。初めから効率の良い勉強法だけを求めるのは間違い。「勉強において、『質』は『量』から生み出される」と言われる。

Q：得意教科を伸ばすには？

A：得意分野すなわち成功体験をつくり、それを拡大していくこと。

Q：小論文対策は？

A：読書や新聞から、社会的問題に関心を持つこと。

Q：今の私たちに必要なことは？

A：まず学校生活を前向きに、充実したものにすること。

Q：もしセンター試験で失敗したら、どうすれば？

A：私立大学の受験や、家庭の事情による浪人の可否などを考慮し、事前に綿密に受験プランを練っておくこと。ただしこの新聞の裏面の、私が担任した藤田さんのように、国立大合格の可能性が少しでもあれば最後まであきらめない。

Q：今年の文理の分かれ具合はどのくらいですか？

A：本校は圧倒的に文系が多く、8対2。全国で見ると国立大受験者は4対6でやや理系が多く、私立大は半々の5対5。

Q：最後に卒業生と在校生に、それぞれメッセージをお願いします。

A：卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今から国公立中期・後期日程や、私大の3月期を受験する人たち、最後まで頑張ってください。在校生は先輩たちの今の状況を気にとめると、これからの一日一日を大切に過ごせるのではないでしょうか。

はりこ

▼地球が最後の日を迎えるまで、あと2分30秒となった。滅亡の時刻を午後0時として、残り時間が0時であと何分かを象徴的に示す「終末時計」の時間だ▼1947年に残り7分から始まったこの時計は、世界情勢に応じて針が動かされてきた。最も進められたのは、米ソが相次いで水爆実験に成功した1953年の2分前。最も戻されたのはソ連が崩壊した1991年の17分前で、昨年は3分前となっていた▼その針を30秒進めた一因は、第45代アメリカ大統領となったドナルド・トランプ氏だ。超大国アメリカの大統領は世界に大きな影響力を持つが、トランプ氏は選挙中からの過激な発言に加え、大統領就任後次々と大統領令を出し、アメリカ国内や世界に分裂や混乱を招いている▼米国第一主義を掲げるトランプ氏は、メキシコからの不法移民を防ぐための国境の壁建設や、TPP離脱などに早速着手した。テロを防ぐためとして、難民の受け入れ中止やイスラム圏の特定の国からの入国を禁止した際は、批判や抗議デモが起きた▼アメリカの政策は、日本の安全保障にも影響を与える。さしあたり日米同盟を維持していくことで一致したが、アメリカ軍の駐留経費などをめぐり、今後変化する可能性もある▼針が進んだ理由に、地球温暖化に対する姿勢もある。昨夏はインドで観測史上最高の51℃を観測、北海道には台風が上陸したが、トランプ氏は地球温暖化は起きていないと主張し、パリ協定からの離脱を示唆。さらにオバマ前大統領が、環境への影響を理由に中止した石油輸送パイプラインは、雇用を生み出すとして工事を進める方針に転換した▼終末時計の針を5分前まで進めた福島第一原子力発電所の事故から、間もなく6年を迎える。パリ協定が発効し温室効果ガスの削減目標を決めた日本だが、原子力の代わりに火力発電が増えており、課題が残る▼今年はフランスやドイツで大統領選挙や国政選挙が行なわれ、その結果によっては自国第一主義がさらに台頭する。しかし、テロ、移民・難民、核、気候変動などの問題は、世界が分裂していては解決できない。終末時計の針を戻すためには、連帯・協力しなければならないのは明らかである。自国だけが生き残ることなどできないのだから。

藤田先輩の案内で行く 茨城大学キャンパス見学記

恒例の大学キャンパス見学記シリーズも、近隣の国立大学はあらかた紹介してしまったが、すぐ隣県にまだ取材していない大学が残っていた。しかも在学中の先輩は現在4年生に一人だけとなれば、行くなら今でしょ！と、三学期早々の1月9日の成人の日に、茨城県水戸市にある茨城大学を訪れ、藤田夏樹先輩（福島大学附属中出身）の案内で、水戸キャンパスを見学させていただいた。

近くて遠い？ 茨城県水戸市

福島県が接している県をすべて挙げよ、と言われて6県全部を答えられる人は、どれくらいいるだろう。宮城県や山形県はお馴染みで、新潟県は会津で接し、群馬県は尾瀬が有名なので言われれば納得する。だが県北地方に住む私たちは、東京へ行く途中に通る栃木県なら分かっても、その東隣の茨城県となると、いわき市の人たちにとっては身近でも、福島市からはあまり行く機会がないかもしれない。高速バスもいわきまでしか出ていないし、JRで行こうとすると郡山から水郡線で行くか、いわき経由で磐越東線と常磐線を乗り継いで行くしかない。つまり、新幹線や東北自動車道に沿った中通り地方から外れることもあって、隣県にもかかわらずやや縁遠い県なのである。ちなみに読み方は「いばらぎ」ではなく「いばらき」が正しい。

水戸キャンパス正門前にて。左から二人目が藤田先輩

さらにその県庁所在地である水戸市も、「納豆」「偕楽園」「梅」「水戸黄門」くらいは思い浮かんでも、それ以上はわからないというのが、多くの福島市民の感覚ではないだろうか。

水戸市の人口は約27万人で福島市とほぼ同等、お隣の栃木県の県庁所在地・宇都宮市の約半分。それでも茨城県内で最も人口の多い市というのだから、いかに県内に人口が分散して発展した県かが分かる。ちなみに茨城県内には、今回取材した茨城大学の他にも、県南部のつくば市に筑波大学（当新聞では2011年に取材済み）がある。全く成り立ちの違う国立の総合大学を県内に複数持つというのも、東京都や北海道などを除けばたいへん珍しい。

ちなみに私たちが訪れた頃から始まった大相撲初場所で初優勝し、横綱昇進を決めた稀勢の里の出身地牛久市も、卒業した中学校のある龍ケ崎市も、同じ茨城県内なので、2週間後には県をあげてのフィーバーになったことだろう。なお茨城県のほぼ中央に位置する水戸市は、常磐線や国道6号線沿いにあるので、海沿いなのかと思いきや、実は海には面していないのも、県外者にとっては驚きだ。

理系学部の充実した大学

そんな「近くて遠い」茨城県水戸市にある国立大学法人茨城大学は、残念ながら私たちの学校からの進学先としては、ほとんど候補に上がらないのが実情だ。しかし設置されている学部・学科の中に進みたいものがあり、かといって首都圏までは出たくないという人にとっては、十分に検討の価値ある大学なのだ。

茨城大学の歴史は、戦後の新制大学の時代から始まる。1949（昭和24）年に、旧制水戸高校や茨城師範学校などを統合し、文理学部・教育学部・工学部の3学部から成る四年制大学として発足。3年後の1952年に茨城県立農科大学を移管し、農学部を開設。1967年には文理学部を改組し、人文学部と理学部が誕生した。現在はこの人文学部・教育学部・理学部・工学部・農学部の5学部体制で、医学部以外の理系学部が充実しているのが特徴だが、もちろん藤田先輩が所属する教育学部など文系学部も人気である。

ところで人文学部という聞きなれない学部だが、茨城大学の人文学部は人文コミュニケーション学科と社会科学科に分かれ、社会科学科の中に法学・行政学コースや、経済学・経営学コースなども設置されているので、文系の総合学部と言ってもよいだろう。近隣大学では山形大学や新潟大学などにもあるが、新潟大学には別に法学部や経済学部があるため一般的な文学部に近く、大学によってその守備範囲は様々だ。

入学後の1年間は、すべての学部の学生が本部のある水戸キャンパスで学ぶが、2年次から工学部は日立市の日立キャンパスへ、農学部は稲敷郡阿見町の阿見キャンパスへ分かれるというシステムをとる。残る人文学部・教育学部・理学部は、四年間を水戸キャンパスで過ごす。後述する通りこちんまりとしたキャンパスなので、他学部の学生ともすぐ顔見知りになるそうだ。

養護教諭一本で決めた進路

さてその水戸キャンパスの場所は、JR水戸駅から西へバスで約20分、自転車で約30分、歩くと約1時間という、やや離れたところにあるが、周囲は閑静な住宅街で、キャンパスは可愛く外から見ると高校のような雰囲気。

教育学部棟前のオブジェにはお賽銭が

周囲の住宅の間には学生用アパートが立ち並び、県外出身者も生活には困らない。

キャンパス内に入れば大学らしい高層の講義棟や研究棟が並び、しかもそれらが新しく手入れも行き届いた清潔な印象だが、何といっても目立つのは数々のオブジェ。しかもそれらのオブジェの足元にお供え物やお賽銭まであり、学生たちに親しまれている様子がわかる。藤田先輩によれば、多くのオブジェが昨年夏にヒットした「ポケモンGO」のポケストップなどになっており、結構な人だかりだったそうだ。

ＪＲ水戸駅前では黄門様ご一行がお出迎え

すでに茨城県の教員として採用が決まり、あとは卒業論文を提出するだけとなっている藤田先輩が4年間学んだのは、教育学部の養護教諭養成課程。1学年35名の定員で、全員が女子。35名で共用するゼミ室にもお邪魔させていただいたが、女子ばかりの同級生で和気あいあいとした雰囲気は、まるで女子大のようだった。35名中4～5名が教員以外の進路に就職するそうだが、後はほとんど養護教諭としての採用が決まっており、就職率はたいへん良い。

藤田先輩は、高校時代に保健室の大橋先生や後藤先生に憧れて、養護教諭の養成課程のある大学を目指したが、センター試験で思うような点数が取れず、二次試験で逆転の可能性が大きい茨城大学を担任の吉田先生から勧められた。センター試験後の判定ではDだったが、「ダメ元」で受験したところ見事に前期試験で合格。はっきりとやりたい仕事を持つ人の強さが、逆転合格に結びついた好例だ。

入学してみると、地元茨城県民の次に多かったのが、隣接する千葉、栃木、そして福島などの出身者。桜の聖母からは非常に珍しいが、福島東高の出身者などは多いという。バドミントンのサークルに所属したので、すぐに学部を越えた友達ができ、充実した学生生活を過ごした。名物の納豆も常備食で、雪もあまり降らない温暖な気候の茨城がたいへん気に入り、ここでの就職を決めたという。広い県内のどこの学校に赴任するか、今は辞令を楽しみに待っている。

徳川御三家のおひざ元の城下町、日本三名園の偕楽園でも有名な水戸だが、なぜかインドカレー店やラーメン屋も多い。首都圏に近いながらも生活費は首都圏ほど高くなく、学生として4年間過ごすには快適な街だと感じた。茨城大学は、もっと本校から進学する生徒がいてもいい大学の一つではないだろうか。

私の学生時代　佐藤彰子先生の巻

教師になりたいという夢をずっと持っていた私は、茨城大学教育学部音楽科に入学しました。思い出すのも時間がかかるほど昔のことですが、振り返ってみても、ピアノや声楽、器楽や作曲など、自分の興味のあることを毎日勉強できる幸せを実感しながら、充実した学生生活を送っていたなぁと思います。そんな中で、今の私を支えている出来事があります。それは、声楽との出会いです。

大学に歌の上手な先輩が沢山いて、あまりの上手さに「こんなに楽々と、思ったように歌えるって楽しそう！」と、声楽に興味を持ちました。私はピアノ専攻で入学したので、ひたすら一人で黙々とピアノを練習する状況でした。当たり前のことなのですが、二重唱や、オペラの練習をしている声楽の人たちがみんな楽しそうで、その仲間に入りたいばっかりに伴奏者として首を突っ込みました。そのうち、歌いたくなった私は、声楽に専攻を変えることにしました。「誰よりも後に声楽を学んだんだから下手で当たり前」と思って練習していたのですが…先輩たちが歌っているように、そして自分が歌いたいようには全く歌えない。実際は技術が足りず苦しくて歌えない。常に悩む日々を過ごしました。だんだん周りの人がうらやましくなって焦る。悔しい。そんな余裕のない気持ちが、どんどん自分を追い詰めました。無理して歌って声が出なくなり病院に通う、を繰り返した辛い時期でした。

ですがある時、「一人で練習するとうまくいかないけれど、歌の先生のアドバイスがあるとまあ歌える」、そんな自分にふと気がつきました。それからは「私そのものが壊れているわけじゃない。だから、いつかできるようになるに違いない！」と思えるようになって、今に至ります。自分のペースで自分の成長を長い目で温かく見守ることができるようになってからは、歌はやっぱり楽しく、上手になりたいことであり、私の好きなことです。

そして今、子育て真っ最中でへとへとの私の息抜き&楽しみは、月一回の歌のレッスンです。大学時代に出会った声楽は、私の人生の支えとなっています。

卒業公演の前の楽屋で友人たちと（中央が彰子先生）

太学受験 現役 合格体験記

今年も3年生の皆さんが、大学受験で次々と素晴らしい結果を出している。この新聞発行の時期の都合上、一般受験も含めたすべての結果を掲載できないのは残念だが、既に合格を決めた3年生の声を紹介する。後輩の皆さんは、これら先輩方の貴重なアドバイスを参考に、今後の高校生活を過ごしていただければ幸いである。

氏名（出身中）
合格大学・学部・学科
【受】受験方式
【動】志望校を決めた動機
【勉】高校時代にこころがけた勉強方法
【活】高校時代、勉強以外に打ち込んだ活動
【桜】桜の聖母学院で学んでよかったこと
【後】後輩へのメッセージやアドバイスなど

幸内桃香（桜の聖母学院中）
国 福島大学 人文社会学群行政政策学類
【受】公募推薦
【動】東日本大震災以降、福島の復興に携わりたいと思ったから。また地方の人口減少、少子高齢化に関心があり、日本の地方の将来について学びたいと思った。
【勉】私の場合、読んだだけでは覚えられないため、ひたすら書いて覚えた。友達と問題の出し合いもした。
【活】2年生の夏に、高校生のためのアスペン古典セミナーに参加し、他県の高校生と意見交換をした。またインターネットやテレビで、自分が興味のあることについて調べた。
【桜】先生に質問すると、分かるまで丁寧に教えてくれること。進路の相談や勉強面の相談を、親身になって聞いてくださること。
【後】志望校が決まっていなくても、とりあえず勉強を頑張ってください。努力は大切です。また、いま自分が勉強することができるのは、サポートしてくださっている先生方と、子どもに期待して経済的に支えてくれている保護者のおかげだということを、常に心にとめておいてください。

鶴時かれん（桜の聖母学院中）
国 福島大学 人文社会学群経済経営学類
【受】公募推薦
【動】福島の復興に貢献したいと考え、地元にあり復興に関する様々な取り組みをしているこの大学で、福島の産業の現状や課題を学び、それを発信する力を身につけたかったから。
【勉】繰り返し復習することで、自分の理解度を定期的に確認した。
【活】2年生の時に、第18代高校生平和大使として、広島や長崎、ジュネーブにある国連欧州本部を訪問し、核兵器廃絶や福島の現状報告のスピーチ等を行なった。
【桜】一人ひとりに熱心にご指導してくださる先生方と、かけがえのない友人たちに出会えた。
【後】高校3年間はあっという間に過ぎてしまいます。自分が興味関心を持ったことに、積極的にチャレンジしてください。家族や先生、友人、そして自分の心と真剣に向き合って、充実した高校生活を送ってください。

佐久間桃（桜の聖母学院中）
国 福島大学 人文社会学群人間発達文化学類文化探求専攻
【受】センター利用推薦
【動】将来中高の社会科教師になりたいと思っており、地域に密着した活動や、教師として必要なものを培うことのできる実習が充実していると感じたため。
【勉】どうしてもやる気が出ない時や、眠気を感じた時は、勉強の記憶が残らないのですぐに中断した。また一度覚えても必ず忘れてしまうので、全教科を通して反復して覚えるようにした。
【活】漢検、英検、数検など資格を取得すること。受験にも活用できるし、自分の力を伸ばすこともできた。
【桜】先生方が懇切丁寧に教えてくださるので、いつでも頼ることができる。集中して物事に取り組むスイッチとなる、黙想を身につけることができる。
【後】勉強ももちろん大切ですが、クラスや学年の皆で参加する行事も大切にしてください。生活面と勉強面のメリハリをつけると、自然にどちらもうまくいきます。一人ひとりとの出会いに意味があると考え、楽しい高校生活を送ってください。

中山真央（桜の聖母学院中）
公 福島県立医科大学 看護学部看護学科
【受】公募推薦
【動】幼い頃からの夢である看護師を目指した。地域に根差した看護実習があることや、興味ある分野の研究会があることから。
【勉】朝早く起きて、1～2時間は勉強した。無理のない勉強計画を立て、何度もできるまで復習した。
【活】漢検、英検、数検、趣味、理科部の実験や研究。
【桜】先生方が親身になって勉強を支えてくれること。
【後】3年生になってから勉強を始めるのでは遅いです。今のうちから勉強を積み重ねていくことが大切です。勉強は自分との戦いです。弱き己に負けないよう、克己心をもって精一杯頑張ってください。

鈴木冴佳（伊達市立桃陵中）
公 高崎経済大学 経済学部
【受】公募推薦
【動】将来国際協力に携わる仕事に就きたい私にとって、大学では国際経済学を学びたいと考え、来年度から新設される経済学部国際学科に興味を持った。
【勉】通学の電車内では、参考書などを見ながら勉強した。睡眠時間はしっかり確保したうえで、すき間時間を利用するなど、時間の使い方を工夫して勉強した。
【活】2年から3年の前期まで、副会長として生徒会活動をした。また1年夏には3週間アメリカに短期留学し、帰ってから市長へのプレゼンなどの活動をした。3年夏には福島未来塾に参加した。
【桜】勉強や相談など、様々なことを個別に親身になって対応してくれるところ。自分で理解できなかった問題の解説や、進路相談だけでなく、友人関係や学校活動での悩みなどでも、多くの先生方のお世話になった。
【後】高校3年間はあっという間。その中で自分の進路を決めることはとても大変ですが、しっかりと自分と向き合い、自分が何をしたいのか、それまでの経験から何を学び、どう次につなげていきたいのかを考え、進路を決めていってください。そうすればきっと素敵な高校生活を送れます。

東城仁美子（伊達市立桃陵中）
私 南山大学 外国語学部英米語学科
【受】指定校推薦
【動】留学や海外フィールドワークなどのカリキュラムが充実し、留学生が多数在籍しているので、様々な異文化交流を通して、グローバルな視野を身に着けられると思ったから。
【勉】わからないところは、自分で調べたり、先生に質問して理解できるまでやった。テスト期間中は、教室や駅の待合室を利用して勉強した。教科ごとにポイントをまとめたオリジナルノートを作った。
【活】インターアクト部の活動、特に仮設住宅慰問。英語同好会の活動。
【桜】立腰や、聖書の言葉を通して、自分と他人との向き合い方、人間の尊厳について学ぶことができた。
【後】努力した分だけ、そこから学び、成長することができます。他人に何を言われても、強い信念と夢を持ち続け、まっすぐ進んで行ってください。何事においても努力すること、自分を持つことは大切です。自分らしい高い志を持ち、かつ謙虚に生きてください。

松浦史佳（桜の聖母学院中）
私 上智大学 外国語学部英語学科
【受】カトリック高等学校対象特別入試
【動】幼い頃から親しんできた英語を、留学生との交流や講義などを通して、道具として使えるものにしたかったから。また、大学のカリキュラムによって、多様な視座が身につき、日本の姿も客観的に捉えられると考えたから。
【勉】定期テストに向けて、また大学受験の際の選択肢を狭めないために、5教科をバランスよく勉強するようこころがけた。特に定期テスト前は、苦手な理数科目に力を入れた。
【活】理科部に所属し、部活内でグループに分かれて県立医大で研究発表をした。発表までにはたくさん準備が必要だったが、自分の視野を広げる機会になった。
【桜】宗教行事や、毎朝の祈りなどを通して、カトリックの精神を身につけられたこと。6年間共に過ごした友人達に恵まれたこと。
【後】高校3年間はあっという間なので、毎日を大切にしてください。また家族、友人、先生など多くの人とのかかわりのなかで、自分の目標が見えてきます。ぜひ楽しんで高校生活を送ってください。

佐藤絢音（福島市清水中）
私 上智大学 総合人間科学部心理学科
【受】カトリック高等学校対象特別入試
【動】大学で心理学を学びたいと考え、上智大学では心理学において広い領域を対象としていることと、グローバル教育が充実していること。
【勉】授業で習ったことは確実に身につけるため、その日のうちに必ず復習する。そしてわからない部分は先生に質問するなど、早めに解決するよう心がけた。
【活】4歳から続けているピアノ。全国大会に出場することもでき、継続することの大切さを、身をもって経験することができた。
【桜】先生と生徒の距離が近く、勉強などもしっかりと時間をとって教えてくださること。倫理的・道徳的な、人としての基礎を学べること。
【後】今、自分の目の前にある、やるべきことに全力で取り組めば、必ず役に立つはずです。そして勉強ももちろんですが、友達との時間を大切にし、一生一度きりの高校生活を悔いのないよう過ごしてください。

萱野真央（福島大学附属中）
私 上智大学 総合人間科学部教育学科
【受】カトリック高等学校対象特別入試
【動】教育を通して国際的な貢献に関与できる人間になりたいと思い、国際社会で活躍するための感覚や教養など、グローバルな教育の世界を知ることができると思ったから。
【勉】授業の復習は一度きりでなく、テスト直前にかけて何度もおこなった。学校のスタディーセンターを活用し、まとまった勉強時間を確保することで、計画的かつ効率的に勉強に取り組むようにした。
【活】インターアクト部の部活動。ボランティアや他校生との交流を通じて、社会性やリーダーシップが身についた。ミャンマーへ文房具を寄付する活動では、微力ながらも自分も力になれると実感した。
【桜】勉強に打ち込める環境が整っており、また様々な行事で一人ひとりが輝ける場所があること。愛と奉仕の精神を学び、人としての生き方を学べたこと。
【後】進路や将来の夢がまだ漠然としていても、まず目の前の小さな目標を設定してみると、自然とモチベーションが上がり、今しなければならないことが明確になるはずです。また、思い立ったらためらわずに挑戦することも大切です。自分次第で、いくらでも成長できます。一度きりの高校生活、たくさん学び、自分の可能性を広げましょう！

編集後記

☆先輩たちが引退してから初めての新聞作成。何とかできたけど「はりこ」は先輩の力を借りてしまいました…次回は私たちだけで頑張る！（トランプ）

☀藤田先輩の、ギャル曽根並みの大食いにはびっくり。インドカレー店でおかわり自由のナンは大抵3枚、串焼き百本完食だって（花札）

♥コンサートは眠かったけど、木綿子先輩の歌の時にはしっかり起きてました（笑）吉田先生インタビューは、自分にとっても勉強になりました。（麻雀）

♪茨城大学の取材を通してよい経験が出来ました！皆さんも私達と一緒に各地の大学へ取材に行ってみませんか？ 部員募集中です！ 希望者は2年1組の部長、もしくは2階物理室隣の新聞部室へ！（カジノ）

コックさんのからあげ屋
野田町店
当店
桜の聖母学院高校
サーバス野田町
からあげ・各種弁当・お惣菜
TEL 024(533)0330
FAX 024(597)6772

福島県二本松市本町一丁目
二本松藩御用達
御菓子師
(株)玉嶋屋
TEL.0243-23-2121

新学期に向けてスタートダッシュ！
参考書フェア
辞書・電子辞書ご相談下さい。
文化情報発信館
西澤書店
大町店　福島市大町7-20　Tel.024-522-0161　Fax.024-522-4139
北　店　福島市南矢野目字中江12-5　Tel.024-557-5101　Fax.024-557-5107

旅は心のビタミン剤！
春休みは旅に出てみませんか。
好評受付中
JTB東北 法人営業福島支店
〒960-8035
福島市本町5-26（本町本田ビル1F）
TEL 024-523-3314
FAX 024-522-2980
営業時間：月～金曜日／9:30～17:30
（土・日・祝日休業）
http://www.jtb.co.jp/shop/hojin-fukushima/
みずほ銀行　国道13号線　パセオ470　日本銀行　秋田銀行　常陽銀行　至福島駅　福島駅前キャンパス　本町パーキング　野村證券　JTB東北法人営業 福島支店

大切な写真は
●広々とした空間を持つ —ファミリースタジオ—
●緑に包まれた —ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる —サロンスタジオ—
PHOTO SALON
わが家のメモリーアート
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL0245-82-3152　FAX0245-82-3622